

カーミージーの海で遊び隊

平成27年（2015年）度

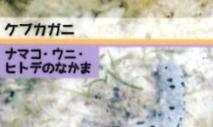
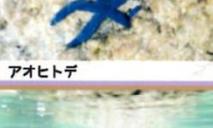
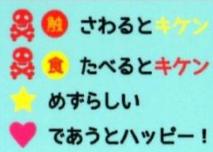
活動報告

カーミージーの海で遊び隊

代表：浪岡光雄



カーミージーの海は浦添の宝

魚のなかま				カニ・ヤドカリ・シヤコのなかま			
 ルリスズメダイ	 カクレクマノミ	 ゴンズイ	 ハナミノカサゴ	 ルリマダラシオマネキ (オス)	 オキナワハクセンシオマネキ (オス)	 トゲアナエビ	 ソデガラッパ
 オニダルマオコゼ	 オオウミウマ	 トゲヨウジ	貝のなかま				
 ゴマフニナ	 オニヒザラガイ	 キヨダカラ	 ハナピラダカラ	 コモンヤドカリ	 ナマコ・ウニ・ヒトデのなかま	 ニセクロナマコ	 オオイカリナマコ
 イモガイ類	 ハボウキガイ	 クモガイ	 マガキガイ	 ナグウニ	 ガンガゼ	 アオヒトデ	 クロクモヒトデ
海藻のなかま				サンゴのなかま			
 アナアオサ	 ヒトエグサ (アーサ)	 カゴメノリ	 フクロノリ	 キクメシ類	 ミドリイシ類	 ハマサンゴ類	 オニヒトデ
 ホンダワラ類	 カイメンソウ	 ウツクキウチフ	 キッコウグサ	ウミウシのなかま			
 フデノホ	 イソノギナ	 ラッパモク	 センナリツタ	 イソアワモチ	 タツナミガイ	 チドリミドリガイ	 アメフラシ
 オキナフモスク	 カサノリ	海藻のなかま		 ゴカイ・ヒラムシ・ヒモムシのなかま	 ケヤリムシ	 ウミウシ	 ヒラムシ
 リュウキュウスガモ	 ウミヒルモ	 マツバウミジグサ	 タコ類	タコのなかま			
 ヒョウモンタコ	 <ul style="list-style-type: none">  さわるとキケン  たべるとキケン  めずらしい  であうとハッピー! 						

分かりやすく編集

地域の海岸 希少、危険、ごちそうも
カーミージーで探そう

「遊び隊」、生き物パンフ作製

浦添市内全小学校へ



カーミージーの生き物パンフレットを作製し、浦添市内の小学生に贈呈する浪岡光雄さん（右）2日、浦添市の港川小学校

【浦添】浦添市港川の自然海岸（通称・カーミージー）での自然観察会を実施する市民団体「カーミージーの海で遊び隊」がこのほど、カーミージーに生息する海の生き物63種類を記載したパンフレットを作製した。2日に地元の港川小を訪れ、3・4年生全員分のパンフレットを手渡した浪岡光雄代表は「家族と一緒に海に遊びに来て」と呼び掛けた。

第14回浦添市まちづくりにプラン賞の助成を受けた事業。パンフレットはA3サイズの両面カラーで、3500部を発行して観察会に活用するほか、2600部を市内全小学校に配布する。カーミージーのイノー（礁池）で見られる代表的な生物を「魚」「カニ」「ヤドカリ・シヤコ」「サンゴ」などの仲間に分類。毒のある危険な生物にはドクロ、希少種や食べるとおいしい生き物

にはハートや星のマークを添える。大阪出身で沖縄に移住した浪岡さんが、撮りためた写真で構成し、周辺の海域の地図も載せた。「学習意欲を高める工夫をした。実際にはこの100倍の生物がいるから63種類に絞るのに苦労した」と語った。

22日午後3時からカーミージーで生物観察会を開催する。問い合わせは☎098（875）8577。

小中学生全員と新入生に配布



昼間の観察会・危険生物の学習



ナマコを遠巻きに見守る

ラトビア・エジプトの研修生 カーミージー観察会

海の多様性に感激

2015. 10. 3 新報



環境の研修で浦添市港川のカーミージーで自然観察をするラトビアとエジプトの青年ら＝9月27日、浦添市港川のカーミージー

浦添 歴史と里浜活動学ぶ

【浦添】内閣府の国際青年育成交流事業の一環で、ラトビアから4人とエジプトから2人の研修生が9月27日、浦添市港川自治会を訪れた。一行は環境コースのメンバーで、開発計画がある浦添市の西海岸で、里浜活動をしている銘対全郎港川自治会長から話を聞き、「カーミージーの海で遊び隊」の浪岡光雄代表が海を案内した。海での自然観察会では熱帯魚や貝、ウニなど港川の多様性ある海の生物に感嘆の声を上げた。

ラトビアから来たダニエル・リアクリンジさん(22)学生は「ウニやナマコが面白くて感動した。ラトビアにはこんなきれいな海はない」と話していた。

またマルタ・リクシャさん(24)研究者は「そもそもラトビアにはサンゴ礁がない。大きな魚ばかりでこんなにカラフルな魚はいない」と語った。

自然観察会の前に、港川自治会で銘対自治会長からカーミージーとその周辺の自然の豊かさ、歴史と里浜活動などについて説明があった。

銘対会長は「里浜活動を通して未来の子どもたちには価値のある海だということを伝えれば、社会の発展は開発だけではなく新しい議論ができると思う」と語った。

手話や外国語の通訳付きの観察会



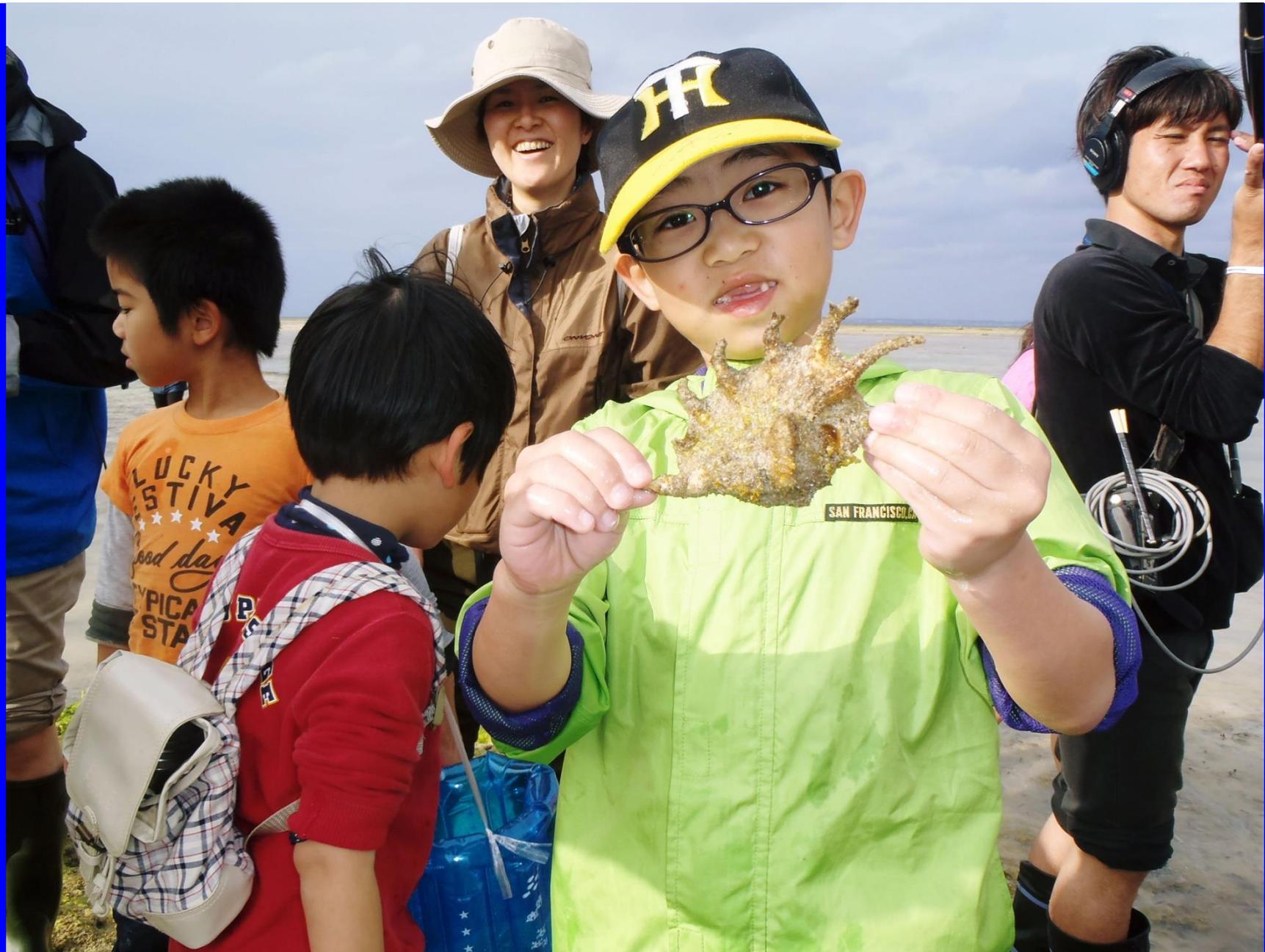
トゲアナエビ釣りに夢中



真剣に説明を聞く



アオヒトデ大好き



クモガイ！



ウミヘビ発見！



モズクとったよ!



冬の神秘的な夜の観察会



冬の風物詩・アーサつみ



暖かくておいしかったアーサ汁

海遊び、気分爽快

福島の避難者 生き物観察会で交流



福島避難者のついでに沖縄しゃんがらが企画した、カーミージー海の生き物観察会。13日、浦添市のキャンプ・キンザー沖の海岸

浦添・カーミージー

【浦添】「福島避難者のついでに沖縄しゃんがら会」（櫻井野亜会長）は13日、浦添市のキャンプ・キンザー沖の自然海岸、通称カーミージーで海の観察会を開催した。「カーミージーの海で遊び隊」の浪岡光雄代表らが案内し、大人17人、子ども19人の計36人が参加した。

キャンプ・キンザー沖たり、ナマコを頭に乗せて広がるイノ（岩礁）たりしていた。に住むカニやエビ、目の、白い砂の山が海のあち卵などに親しみ、終了後らこちらにあることには浦川自治会からサーサいて、浪岡代表は「砂山汁とおにきりが振る舞われ親睦を深めた。ちよつと干潮の時間な砂山のうんごをしていで、膝下ほどの水深のイランだよ」と述べ、ゴカノイで子どもたちは初めイが海を浄化する作用がて触るナマコや、見たことあることを説明した。とのない小さなカニやヒ 糸満市から参加していた大須賀樹君（12）は「三トテを見つけ「これは何と大須賀樹君（12）は「青い魚の生き物？」と問い掛け 和中1年」は「青い魚を

触ることができてうれしかった。危険な生物も知ることができて勉強になった」と話していた。中2と小6の子どもたちと参加していた櫻井由佳さん（40代、那覇市）は「避難生活で精神的に孤立するのは良くないの、このような機会があると気分転換になる。似たような状況の人たちと悩みを共有できるのもいい」と話し、海遊びを楽しんでいた。今回の企画は、東日本大震災支援協力会議の助成金を得て行われ、今後も海に親しんでもらえるよう、参加者にマリンスーツを提供した。

活動の広がり

浦添市の環境教育・環境学習について

浦添市では、浦添市環境基本計画（平成 25 年 3 月）に基づき、市内の豊かな自然・生き物の価値や身のまわりの環境問題等を紹介し、将来の子どもたちも含め、みんなが幸せに暮らせる社会を支える人材を育成することを目的として、環境教育・環境学習を推進しています。

推進事業の一つとして、下記の大人・子ども両方を対象とした講座を開催しております。

環境教育リーダー育成講座

環境保全活動を推進する人材を育成する講座です。本講座を通して、人間と環境との関わりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動をもって、持続可能な社会づくりに主体的に参画出来るリーダーの育成を目標としています。

子ども向け環境学習講座

自然観察や歴史見学、施設見学などを行い、環境について学習する講座です。本講座を通して、子どもたちが自分と環境との関わりに気づき、環境問題を「自分のこと」として考え、行動へつなげることを目標としています。



環境教育リーダー育成講座修了生の活動

☺ カーミージーの海で遊び隊

代表：浪岡光雄さん
顧問：銘河全部さん（港川自治会長）
連絡先：090-1901-9952
ブログアドレス：http://kamijiasob.exblog.jp
※月に一回カーミージーで自然観察会を開催しています。
要望に応じて、子ども会や自治会等のイベントでの自然観察会も開催します。
詳しくはお問い合わせください。

☺ えこっと*ぼけっと

メールアドレス：ecot_pocket@yahoo.co.jp
Facebook：えこっとぼけっとで検索
コンセプトは、「ちょっとびりエコで、楽しくてかわいい☆」
「えこっと*ぼけっと」は、思い出に残るエコアイテムづくりを応援する団体です。自然のモノや自然にやさしいモノを使って、思い出に残る自分だけのオリジナルアイテムをつくる、さまざまな講座を開催しています。

【これまでの講座実績】
☆まつぼっくり&木の枝を使ったクリスマスリース（2014年 Ver.、2015年 Ver.）
☆廃油でつくるエコキャンドル（夏Ver.貝殻キャンドル、秋Ver.ハロウィンキャンドル）
☆エコバンドの祝い観エゴ玉

お問い合わせ先

浦添市役所 環境保全課

〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶1丁目1番1号 浦添市役所5階
電話：098-876-1234（内線 3221）FAX：098-876-9467
Eメール：envseisaku@city.urasoe.lg.jp

浦添市 環境学習ガイドブック



市の環境学習ガイドブック



フェンスの向こうに広がる浦添の海、カーミージー



浦添ではお馴染みカーミージー



図鑑なみのパンフレットは見応えあり



オオイカリナマコをザルに入れて説明



子どもは好奇心旺盛



クモガイ



ひとつひとつ説明する代表の浪岡さん



この日は2グループに分かれて海へ



集合して一通り注意事項の説明

カーミージーの海で遊ぶ旅
ブログ <http://kamijisob.exblog.jp>
代表 浪岡光雄 Oo-no-o-ro-roun
浦添市のホームページ
<http://www.city.urasono.lg.jp>

浦添の海といえば、米軍基地のフェンスの向う側。70年代に子供時代を過ごした世代にとっては、基地からの六価クロム汚染が問題になったこともあって、すぐ近くにあるのになかなか近づけない、そんな所でした。

ところが「カーミージーの海で遊び隊」なるグループが浦添の海で自然に親しむ活動をしているという。

ある日の観察会に、お邪魔してみる

けっこうな人数で、小学生くらいの子と親御さんの参加が多いかな。まずは、危険な生き物についての注意。なんせ、ヒョウモンダコ、アンボイナのような毒をもっているものも生息しているというから、思わず手にとったりすると大変なことに。

さあ、いよいよ海へ
海岸沿いに伸びる建設中道路の脇から海へと、そろそろわくわく。隊員の方に案内されるまま「イノ（種池）をじゃぶじゃぶとついでいてく。

砂地の穴に、海草をつっこむとトゲアナエビが釣れるという説明に、参加者みんな興味津津。うまく釣れると、歓声があがる。なかなか釣れないエビちゃん、シオマネキ、カクレクマノミの棲むイソギンチャク、イソアワモチ、ニセクロナマコなどなど、時にはザルにとりあげて説明してくれます。

こんなにも、いろいろな生き物の棲む豊かな海だったんですね。それに、イノを歩くのは楽しい。

「カーミージーの海で遊び隊」は、小学校のカーミージーの海の観察会に協力してきた方々が、観察活動をガイドするようなパンフレットの必要性を感じたのが設立のひとつのきっかけだそうです。

実際に、市民の夢応援プロジェクト、まちづくりプラン賞の助成金を活用して、海の生き物パンフレットを作成したことが浦添市のホームページに紹介されています。

観察会は、マスコミで紹介されたこともありますが、なんと1回も参加した子どもたちの口コミで参加者が広がっていているようです。リーダーも増えているとか…

遊び隊の活動に興味のある方や参加したい方は左記のブログか代表の浪岡さんにご連絡ください。

いろいろな雑誌にも紹介される

収 支 精 算 書

収入の部

種 目	決 算 額	計 画 額	増 減	説 明
助成金	357,000円	357,000円	0円	
受益者負担	94,961円	94,941円	0円	
計	451,961円	451,961円	0円	

支出の部

種 目	決 算 額	計 画 額	増 減	説 明
パンフレット 作成費	275,929円	275,929円	0円	1万部の 印刷代金
のぼり 作成費	4,860円	4,860円	0円	「浦添の空 カーニバルの海」 を1本作成
書籍・図鑑の 購入	22,872円	22,872円	0円	活動に必要な 図書を充実した
消耗品費	148,300円	148,300円	0円	印刷用インク用紙、 ラミネート紙等 いくらあっても足りず、大赤字!
計	451,961円	451,961円	0円	

収支報告



元気な仲間たち



この海で

いつまでも

遊べることを願って・・・

ご清聴ありがとうございました

カーミージーの海で遊び隊